



軽防協ニュース速報（号外）

2014年1月20日
軽種馬防疫協議会 事務局
(JRA 馬事部防疫課)

北海道・十勝管内における馬パラチフスの発生について

2013年12月下旬、北海道・十勝管内の重種馬を繋養する牧場で1頭の流産が発生した。2014年1月に入ると、さらにこの牧場で4頭の流産および1頭の生後直死が立て続けに発生したため、このうち2頭を検査したところ、馬パラチフスの原因菌である *Salmonella Abortusequi* を分離した。

直近の国内での馬パラチフス発生は、2012年4月に熊本県の乗用馬で1件報告されている。北海道内での発生は、2009年2月に網走管内の非サラブレッド種で1件報告されているのが最後であり、約5年ぶりの道内での発生となる。なお、2010年・2011年および2013年に国内における同病の発生は認められていない。

(情報提供：北海道農政部 生産振興局 畜産振興課および十勝家畜保健衛生所)

軽種馬防疫協議会